

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
プロダクトデザイン科											
美術概論											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	角田知義			実務 経験	有	職種	クリエイティブディレクター				
授業概要											
「アートとデザイン」の関係は、「サイエンスとテクノロジー」の関係に似ていると言われている。美術の全般的な知識を得る事で、デザインへの新たな視点を得る事を学習の目的とする。その為には先ず「美術がどのような視点、観察眼」で作品を作り続けてきたのかという事を知る必要がある。美術作品を観察、読解、技法を理解することから「美しさの創造性」「表現の創造性」への理解を深める方法の取得を目的とする。											
到達目標											
世界四大文明が発祥した時点で美術は存在していた。我々が培って来た文明の中で美術の存在とその役割を知ることは「表現」と「意味」の生成を知る事になり「文明、文化、歴史」への深い理解にも繋がっていく。歴史的な推移のなかで「社会、文化、産業、美術、デザイン」の関わりを西洋と日本からの2つの視点で見る事で「現代の美術とデザインの理解を深める」ことを目標とする。											
授業方法											
長い歴史を持つ美術で現代デザイン黎明期19世紀からスタートし、よく知られている「印象派」は当時は革命的な出来事だった。私たちが常識として持っている美術の基本的な概念「美しさ」、「美術らしさ」「見る事への探求心」「意味をかたちづくる」「造形する技術」等、美術とデザインが持つ同じ課題に対して過去の著名な作家達がいかに「イノベーション」を起こし新しい創造をしてきたかという事を事例を交えて解説する。											
成績評価方法											
最終レポート55% 学期末のレポート、課題を総合的に評価する。 中間レポート20% 宿題形式のレポート（2回）。 振り返りシート15% 毎時間、受講した授業内容を振り返りまとめ提出。 受講態度10% 出席状況、遅刻の有無、受講態度を評価。											
履修上の注意											
授業に集中してノートをとることが必要となる。各自の理解度の確認、講義内容に対しての質疑応答のため、毎時間「授業の振り返りシート」を記入、授業時間終了時に提出する。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は評価を受けることができない。											
教科書教材											
レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数		授業計画									
第1回		美術概論を学ぶ基礎①									
第2回		美術概論を学ぶ基礎②									
第3回		20世紀、抽象表現 とデザイン①									

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
プロダクトデザイン科	
美術概論	
第4回	20世紀、抽象表現 とデザイン②
第5回	20世紀、抽象表現 とデザイン③
第6回	20世紀、抽象表現 とデザイン④
第7回	20世紀、抽象表現 とデザイン⑤
第8回	20世紀、抽象表現 とデザイン⑥
第9回	西洋美術史の基礎①
第10回	西洋美術史の基礎②
第11回	西洋美術史の基礎③
第12回	日本の美術の多様さ①
第13回	日本の美術の多様さ②
第14回	日本の美術の多様さ③
第15回	現代のアートを俯瞰する